

参考資料

1. 各ライフステージにおける健康の現状

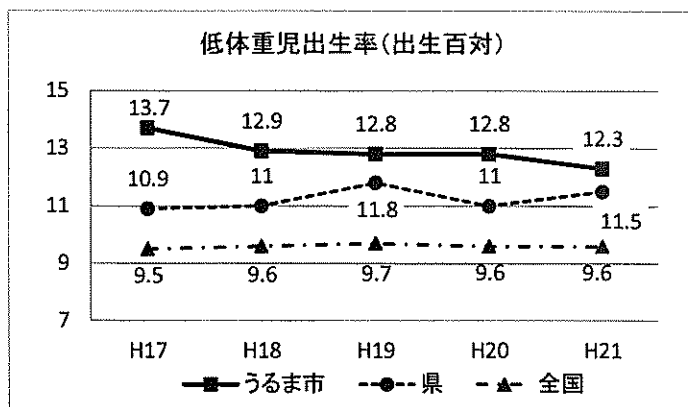
(1) 妊娠期

1) 健康状態の現状

① 低体重児出生率

平成 21 年の低体重児出生率は、平成 21 年度は、市が 12.3%、県が 11.5%、全国が 9.6%となっています。

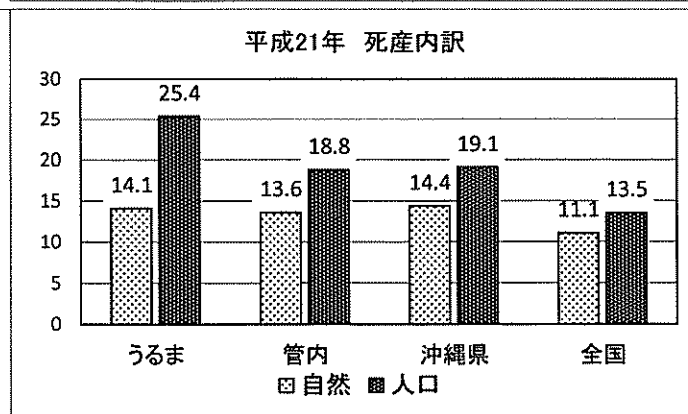
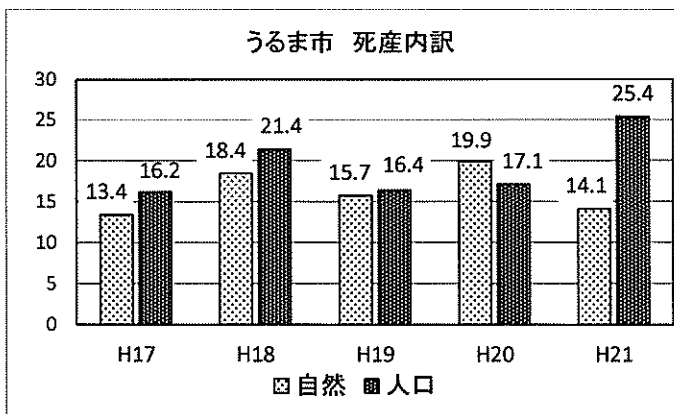
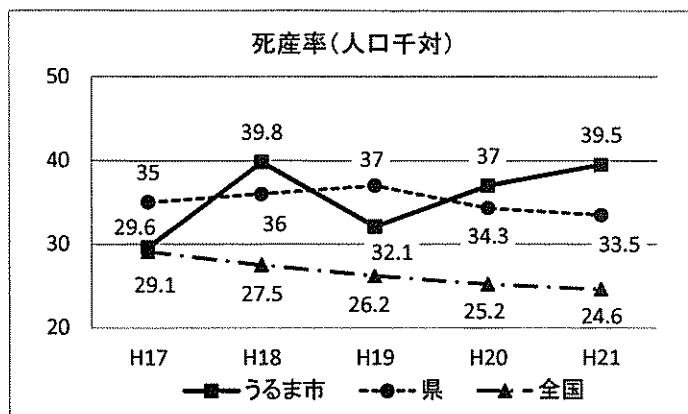
沖縄県は低体重児出生率が全国でも高く、さらに市は県平均を上回る状況で推移しています。



② 死産率

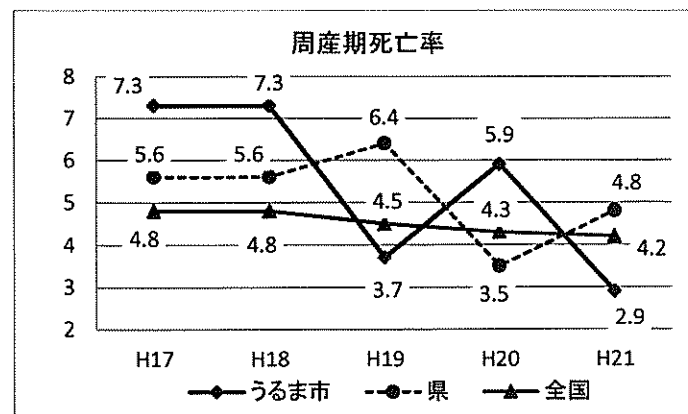
死産率は、ばらつきがあるものの、平成 20 年以降、県を上回り推移しています。

内訳をみると、H21 年にはとくに人工死産の急激な増加がみられ、県より 6.3 ポイント、全国平均より 11.9 ポイント(約 2 倍)高くなっています。



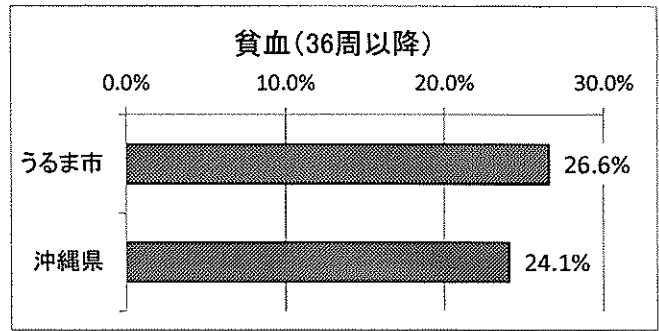
③ 周産期死亡率

周産期死亡率をみると、推移にばらつきが見られます。平成 21 年までの 5 年間のうち、平成 17 年、18 年、20 年は全国、沖縄県よりも高くなっています。

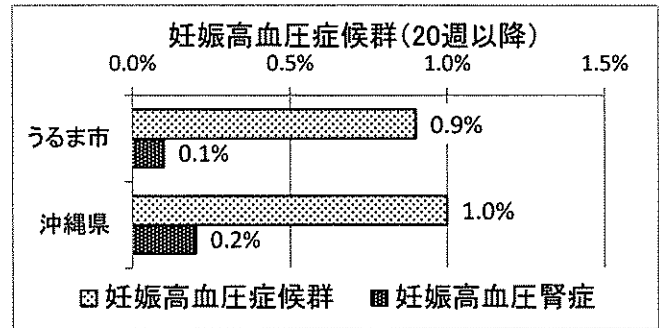


④妊婦健康診査の所見

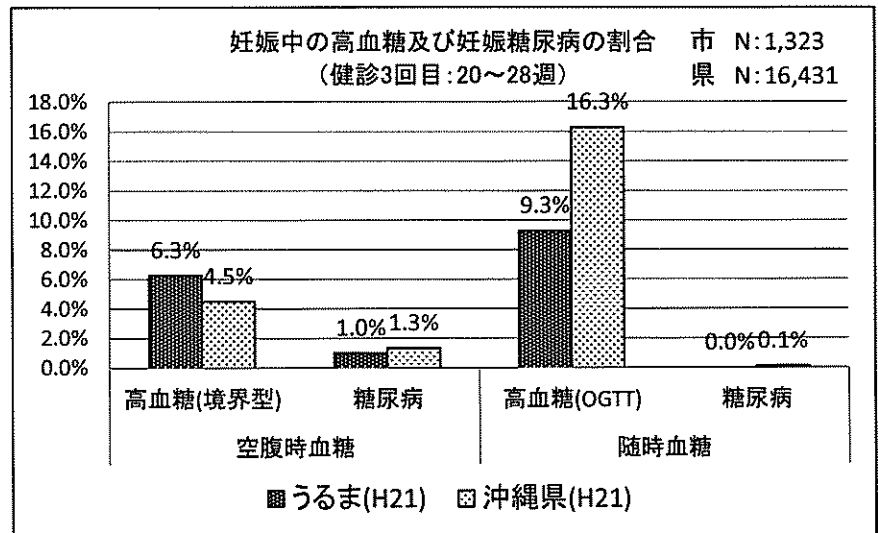
妊婦健診の有所見の状況は、妊娠 36 週以降で貧血所見が 26.6%と県よりも高くなっています。



妊娠 20 週以降の妊娠高血圧症候群が 0.9%、妊娠高血圧腎症が 0.1%となっています。



妊娠 20～28 週の空腹時の高血糖が 6.3%、糖尿病が 1.0%みられます。随時血糖の高血糖が 9.3%みられます。

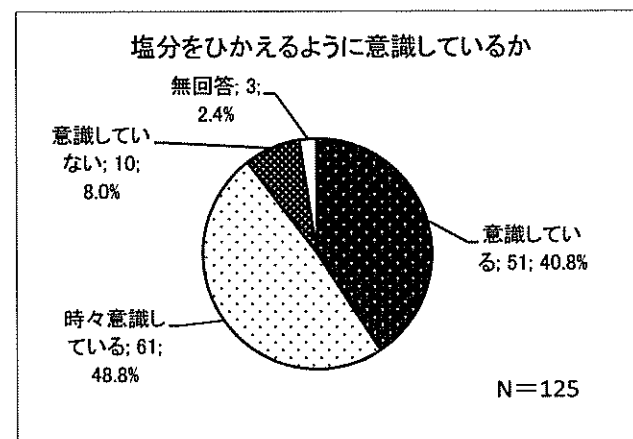
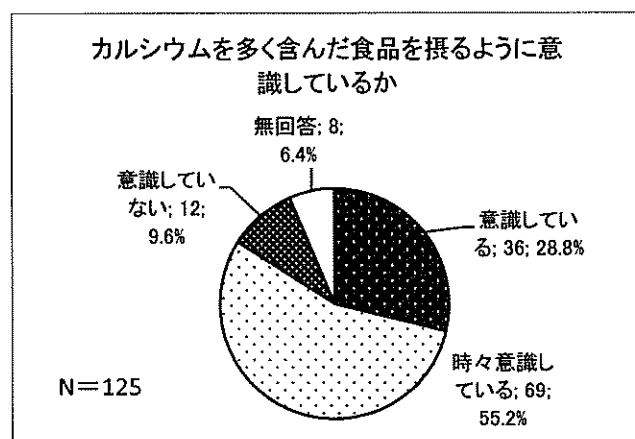
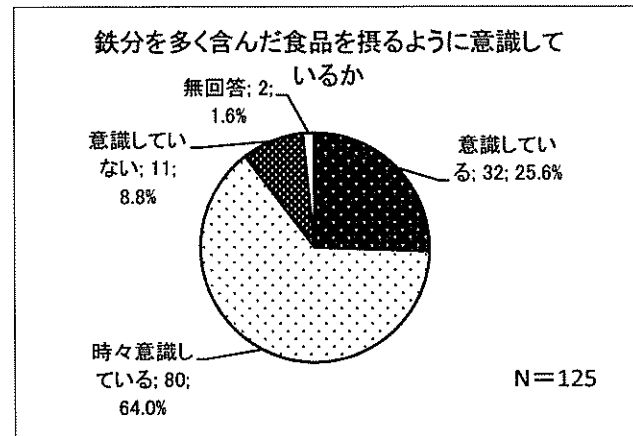
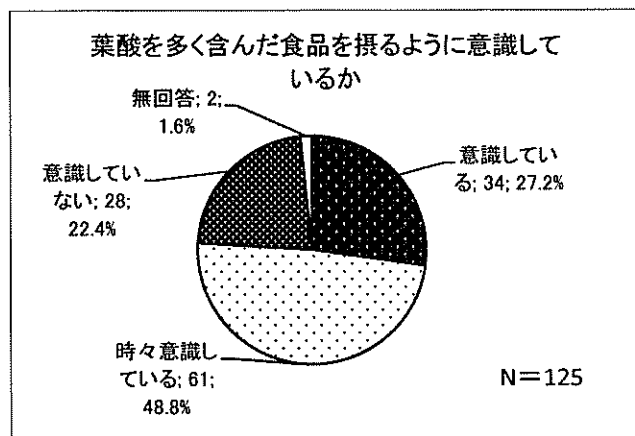
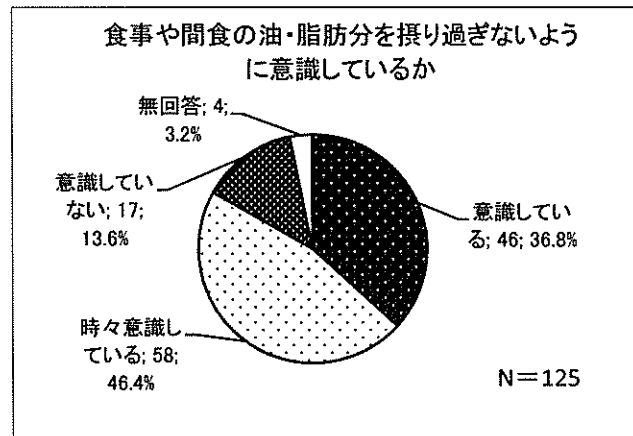
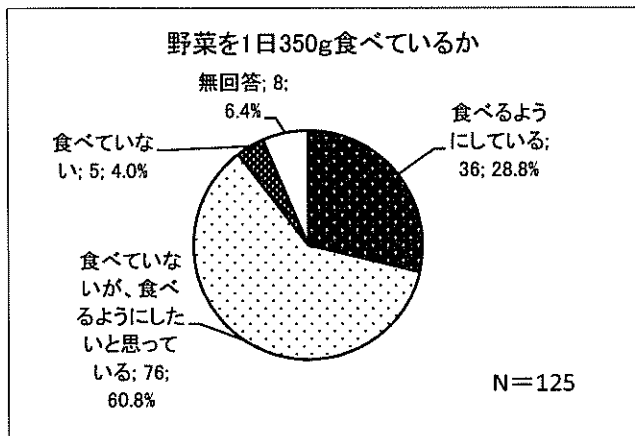
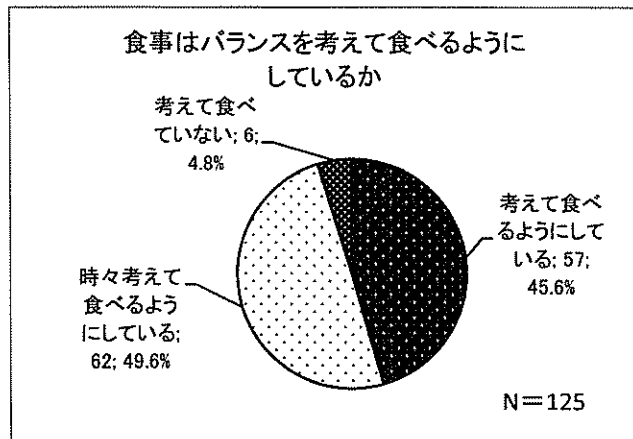
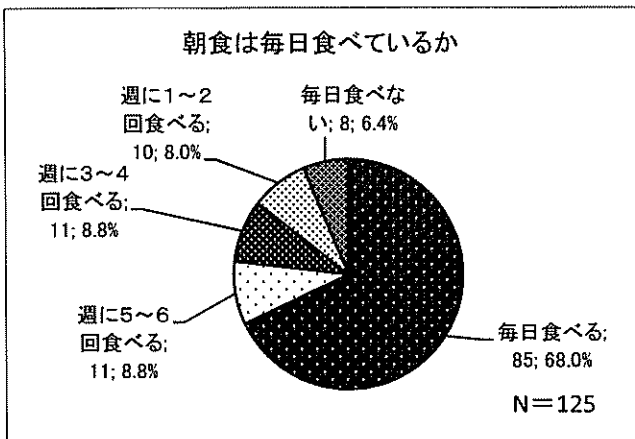


2) 生活習慣 (本人・周りの人の取り組み) の状況

①食・栄養に関する状況 (アンケート調査結果)

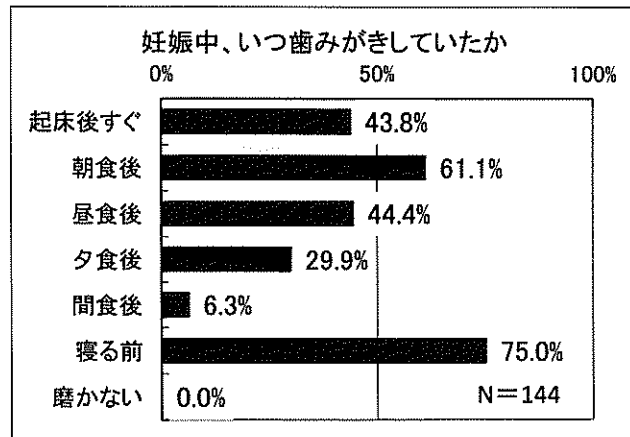
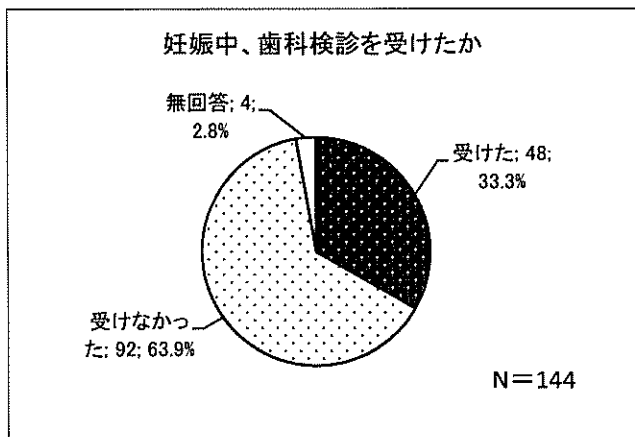
朝食を毎日食べている割合は 68.0%、栄養バランスを考えて食べている割合は 45.6%であり、20～30 代の一般女性の調査結果と比較すると、妊娠期は食生活に対する意識が高まる傾向がうかがわれます。

しかし、具体的な内容等を見てみると、妊娠期に特に大切な葉酸・鉄分・カルシウムを意識して摂っている者は約 25%、間食を 1 日 2 回以上摂取する者が 54.4%、その内容は菓子類が 50%を占めています。



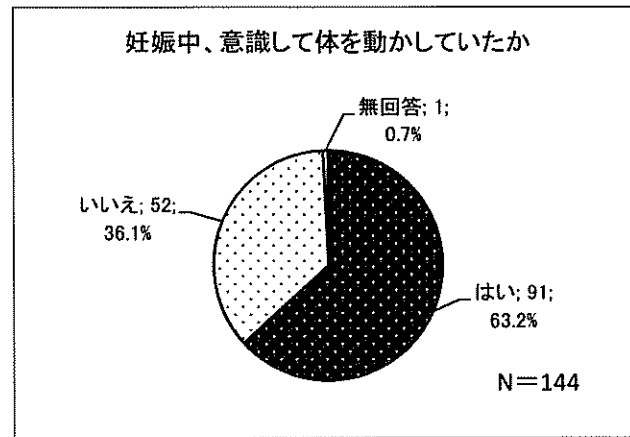
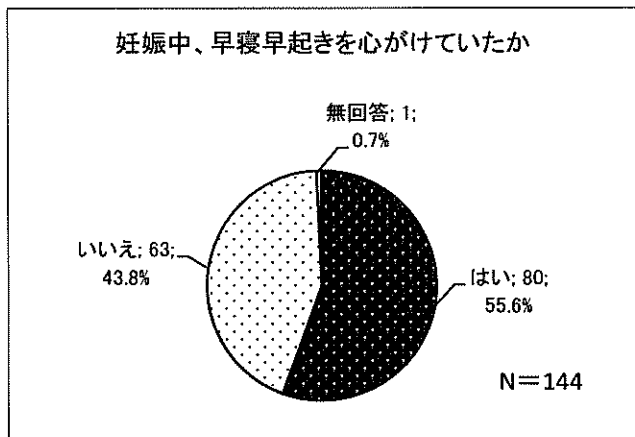
②歯に関する状況（アンケート調査結果より）

口腔衛生管理について、妊娠中に歯科受診をしている割合が33.3%となっています。食後の歯みがきについては、毎食後歯みがきをしている者は21%（朝・昼・夕及び朝・昼・寝る前と答えた妊婦）と低い状況です。



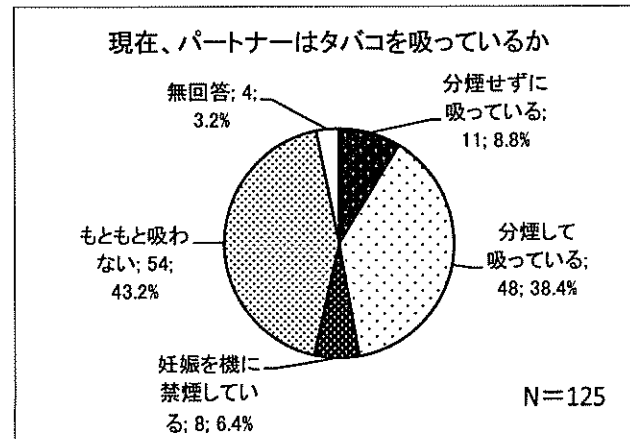
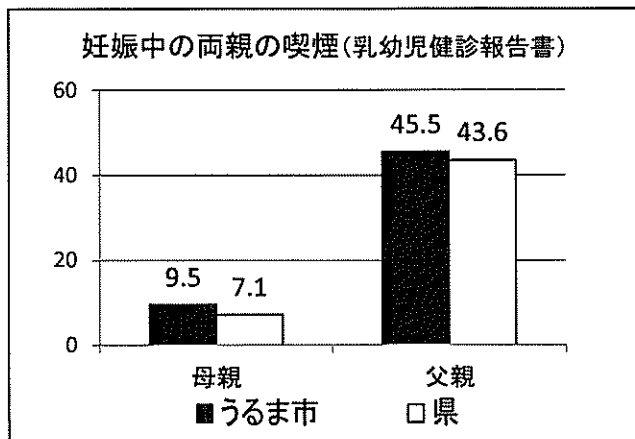
③運動（生活リズム）に関する状況（アンケート調査結果より）

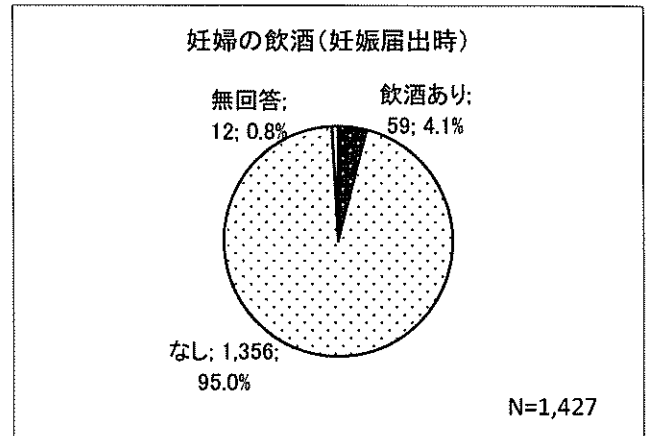
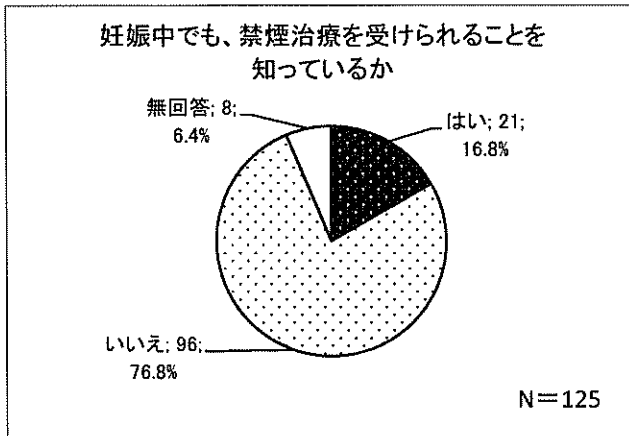
妊娠中の生活リズムについて、早寝早起きの習慣を心がけた者は55.6%、意識して体を動かした者は63.2%となっている。



④酒・たばこに関する状況（乳幼児健診報告書、アンケート調査結果、マタニティーカードより）

妊娠中の喫煙は、母親が9.5%、父親が45.5%と沖縄県より高い状況です。妊娠中のパートナーの喫煙状況は、分煙せずに喫煙している割合が8.8%、分煙している割合が38.4%となっています。妊娠中の禁煙治療については、周知度が16.8%と低くなっています。妊婦の飲酒は、妊娠届け出時に4.1%であり、妊娠を期に禁酒している割合が多くなっています。

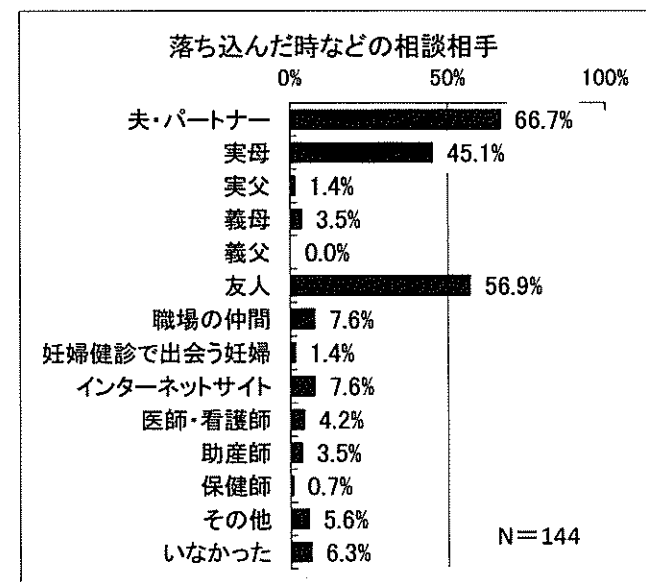
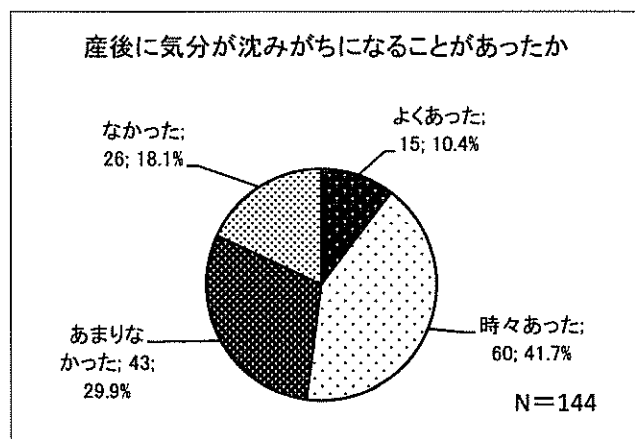
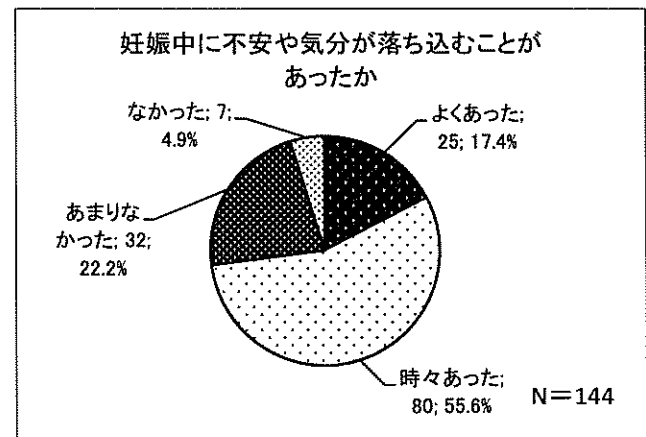
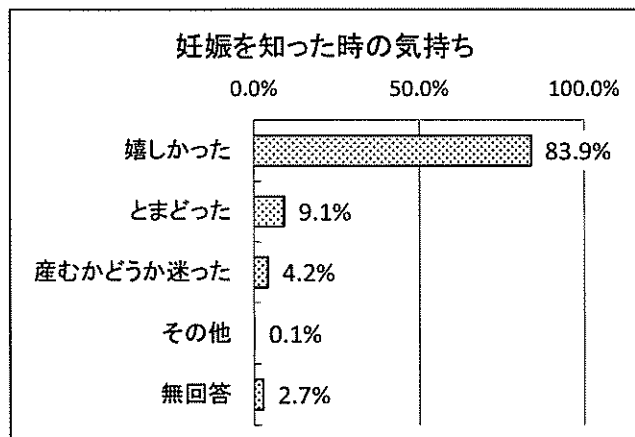




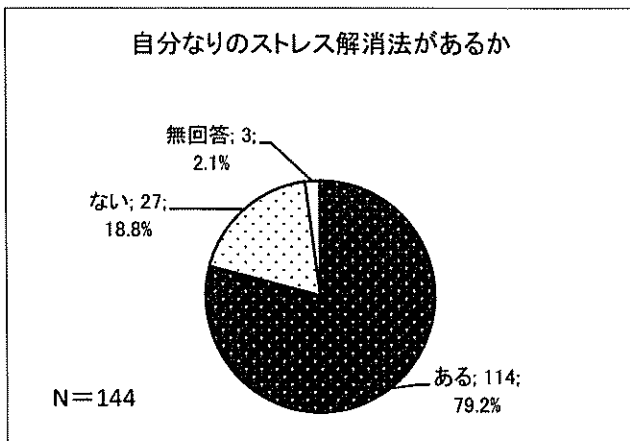
⑤ゆとりに関する状況（アンケート調査結果より）

妊娠を知ったときの気持ちについて、嬉しかったと答えた割合が83.9%と圧倒的に多くなる一方で、戸惑った・産むかどうか迷ったという答えも13.3%みられます。

妊娠中に不安や気分の落ち込みについて、よくあった者は17.4%、産後に不安や気分の落ち込みがよくあった者は10.4%となっています。相談相手の内容と合わせてみると、夫・パートナーが相談相手となっている妊婦は、不安・落ち込みがよくあったと答える者が少ない傾向がみられました。

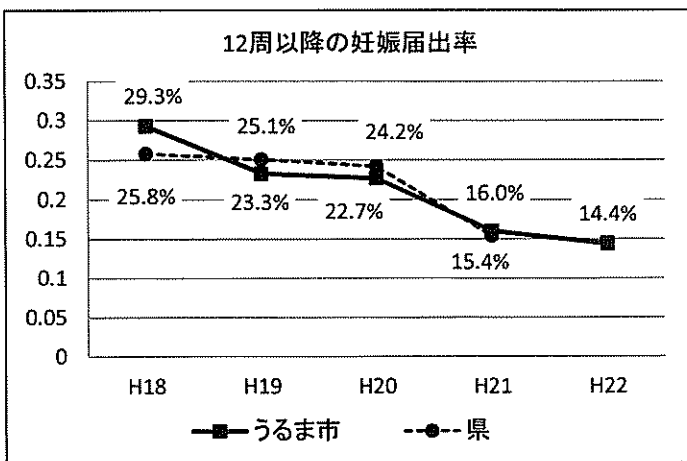
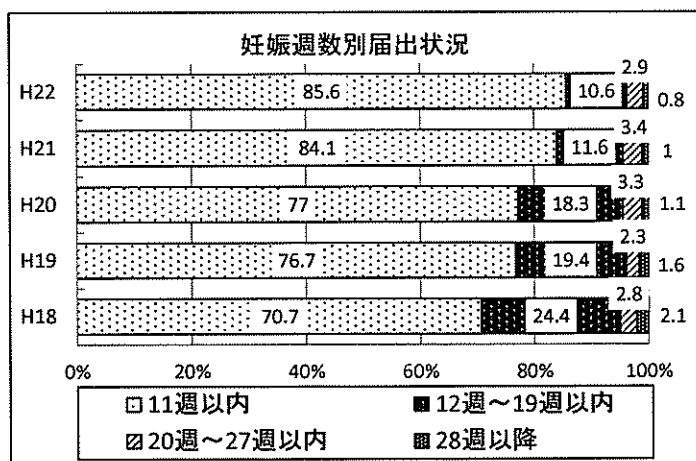


9) 妊娠中に不安や気分が落ち込む	1) 妊娠中や産後の相談相手		
	①夫・パートナー	無回答	総計
①よくあった	11.6%	26.3%	15.8%
②時々あった	61.1%	44.7%	56.4%
③あまりなかった	22.1%	23.7%	22.6%
④なかった	5.3%	5.3%	5.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

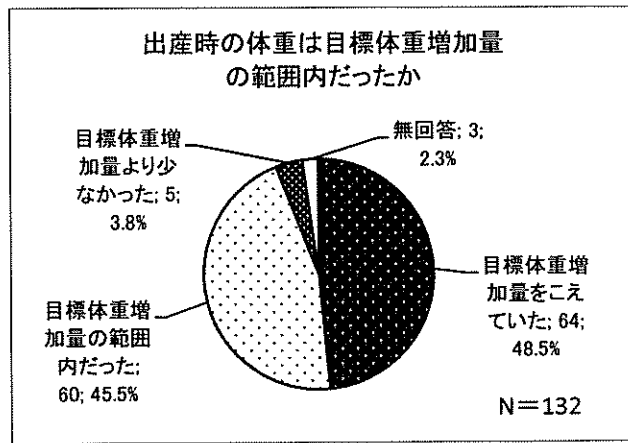
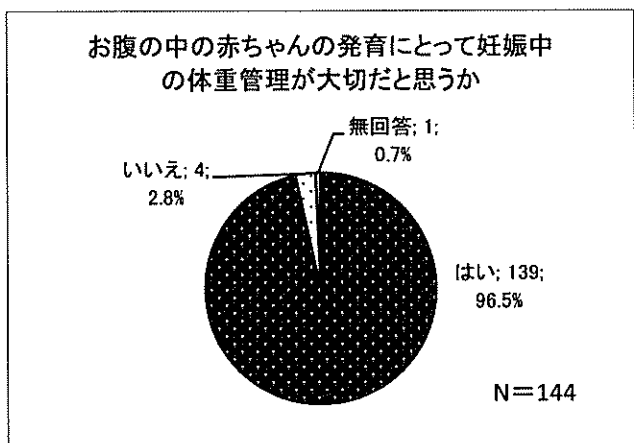


⑥健康管理に関する状況

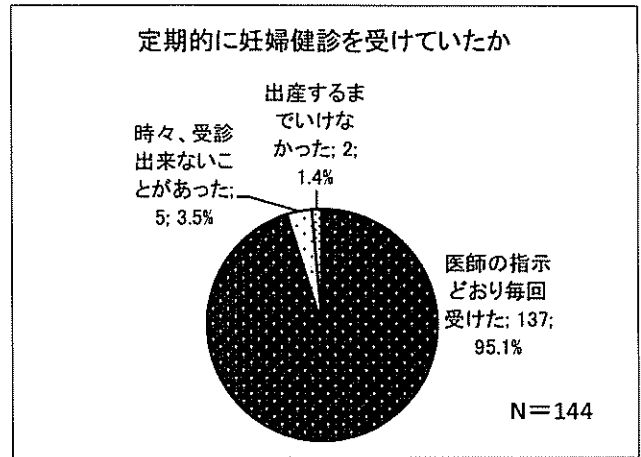
妊娠届出の状況は、妊娠11週以内の届け出が年々増加し、平成22年度は85.6%となっています。妊娠20週以降の届け出は、毎年約4%程度で横ばいに推移しています。



妊娠中の体重管理が胎児の発育にとって大切と考える妊婦（母親）は96.5%であるのに対し、出産時の体重増加量が目標範囲内だった者は45.5%にとどまっています。



妊娠中の健診状況を見ると、95.1%が医師の指示通り受診しているが、時々受診できないことがあった者(3.5%)や、受診できないまま出産に至った者1.4%(2件)の状況もみられました。



気になる症状があった時の対応についてみると、気になる症状があった27.8%(40人)のうち、病院に電話で相談した割合は67.5%、そのまま自分で様子を見たという割合も15%とみられます。市保健師に相談した割合は2.5%となっています。

